

概要・目的

- 被災地の仮設住宅における高齢者等の安心した日常生活を支えるため、総合相談、居宅介護サービス、生活支援サービス、地域交流など総合的な機能を有する拠点として、「介護等のサポート拠点」を整備。
- 介護等のサポート拠点の設置・運営等のための費用として、平成23年度第一次補正予算70億円、第三次補正予算90億円、平成25年度予算で23億円を計上。また、平成26年度概算要求では26億円を計上。
(介護基盤緊急整備等臨時特例基金「地域支え合い体制づくり事業分」)

設置済箇所数	岩手県	宮城県	福島県
117箇所	28箇所	63箇所	26箇所

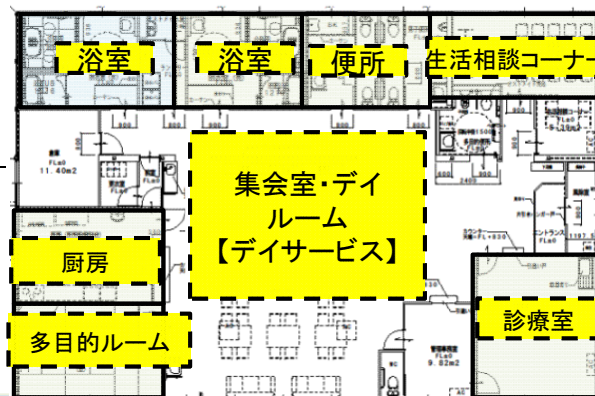
※平成25年7月末現在

サポート拠点の一例(岩手県釜石市)

- 東京大学高齢社会総合研究機構と協力し、総合相談、デイサービス、訪問看護、地域交流、診療機能等の機能を包括的に提供するサービス拠点として整備。**仮設住宅を1つの“まち”と捉え、仮設住宅と一体的に整備。**
- ※ 周辺の仮設住宅の状況：釜石市平田総合公園仮設住宅 [戸数] 240戸
- 高齢者の孤立防止や地域との交流に配慮した「**コミュニティケア型**」の仮設住宅を建設。



サポートセンター外観



主な機能

総合相談

デイサービス

居宅サービス等

(居宅介護支援、訪問介護)

配食サービス等の生活支援

地域交流



集会室・デイルーム



浴室